

令和2年度一般会計予算討論

反 対

川口 浩史 議員

70才を超えると約半数が難聴者であるという。そして耳が遠くなると外出を控えるようになり、控え続けると認知症の発症を高めると研究者は言っている。そのため外出を促すことが大事である。それで町の施設に磁気ループを設置し難聴者も話しを聞ける環境を整備することだ。話しを聞けるようになるというのでは生きがいにちがうかな。そして耳が遠くなると外出を控えるようになり、控え続けると認知症の発症を高めると研究者は言っている。そのため外出を促すことが大事である。それで町の施設に磁気ループを設置し難聴者も話しを聞ける環境を整備することだ。話しを聞けるようになるというのでは生きがいにちがうかな。

賛 成

畠山 美幸 議員

長年の懸案であった駅西口地区整備事業が始まる。活性化につながるよう私も努めていきたい。
空き家活用の居場所づくりは健康と憩いの場として期待する。子育て支援は今後、産後ケア体制を望む。マイナナンバーカード5000枚程度の取得目標を掲げた。人手不足が民間で問題になっており、今や商店・コンビニ等はキャッシュレスを進めている。マ



反 対

渋谷 登美子 議員

令和2年度予算に次の3つの理由で反対する。
①気候変動に対する政策がないこと。気候変動で、10年後にも日本で人が生活するには嵐山町からCO2排出削減をこみ処理・交通・緑地保全の政策を策定し、はじめのべきである。
②消費税増税による幼保無償化で、町立幼稚

賛 成

大野 敏行 議員

率直に申し上げて健全財政の復活をする熱意と決意の見える予算内容です。
各課長・局長の答弁にも全員一丸となつて将来にわたつて、町民福祉の向上に繋がる為の予算編成を実行し実践する想いが見えます。災害に強いまちづくりに向け地震ハザードマップを早期に作成され、町民の防災意識の向上に役立

特別会計	国民健康保険	20億1540万円
	後期高齢者医療	2億4140万円
	介護保険	15億1500万円
水道事業会計		7億3158万円
下水道事業会計		8億9102万円

特別会計への 主な質疑

国民健康 保険

問 県の交付金が2億7500万円も減額されている。医療費が伸びているのになぜ減額になったのか。
答 国保納付金算定時に示される保険給付費見込額をもとに、県支出金が算出されている。主な理由は国保加入者が減少していること、平成30年度に制度が変更されて以降、療養給付費の状況に即して算出方法が調整されたため。

後期高齢 者医療

問 保険料の所得割が0・1ポイント上がって7・96%になった。例として、夫の年金収入が300万円、妻が80万円の所得の場合では、いくら上がる計算となるのか。
答 この設定の場合、令和2年度料率が20



介護保険

問 保険料が2千万円の減額になっている理由は何ですか。
答 加入者はふえていて消費税率10%により低所得者層の軽減があるため。

水道事業

下水道 事業

問 2カ所の施設を統合する浄水場および配水場とはどこか。
答 第1水源は廃止し、第2、第3水源を存続させる。第1配水場と第2浄水場は廃止、統合して、新浄・配水場を建設する。第3配水場は存続する。
問 令和2年度から、下水道会計が公営企業会計に移行となった。ストックマネジメント計画は浄化槽も策定が求められているのか。
答 現在求められているが、公営企業会計へ移行した目的からして今後求められてくるものと考えている。



第1水源（菅谷地内）＝R2.3.31